

# ぶらっとサロン椿通信 令和3年4月号

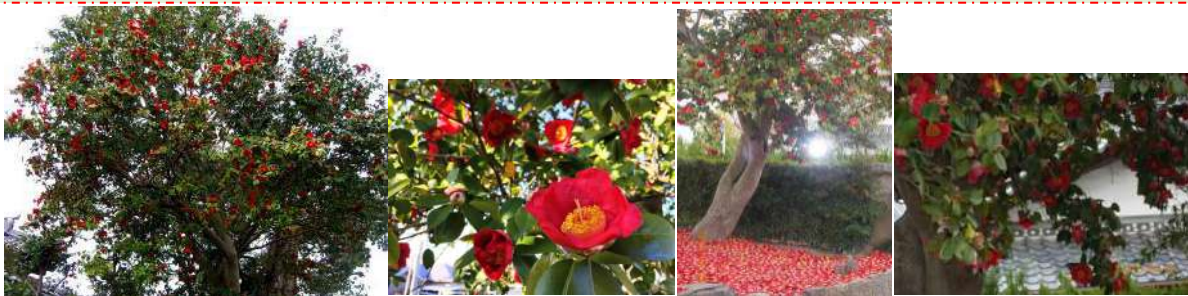
今号の椿『日光』(じっこう)/別称:紅唐子(べにからこ)



報告:有楽齋

毎週火曜日の午後1時過ぎから午後4時半ごろまで、朝日2丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年3月10日から自粛し**現在休局中**です。  
本年発行よりタイトルに『椿』を加えました(有楽齋)

滋賀県草津市の**最勝寺**の境内に樹齢約400年の椿がある。同椿は「**熊谷**(くまがや)」という品種で、高さ約10メートル、幹回りは6メートルを超える。全国の熊谷の母樹とされる宝鏡寺(京都市上京区)の木より大きく、同品種では国内最大級という。2003年に市天然記念物に指定された。



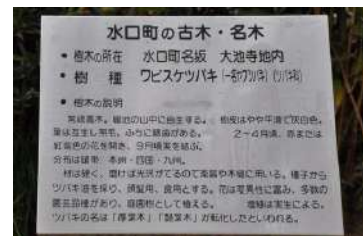
**熊谷**(くまがや or くまがい) 濃朱紅色で一重・平開咲きの大輪椿

別名を光明といい、中国産の原種「浙江紅花油茶 セッコウベニバナユチャ」に由来するとの説があるそうです。雄しべが弁化して唐子咲きになることもあるらしい。  
(「和みの庭」より)

甲賀市水口町の大池寺で**ワビスケツバキ**が咲き誇り、直径3センチほどの淡いピンク色の花が訪れる人の心を和ませている。大池寺は約1250年前の建立。安土桃山時代に戦火で焼失したとされるが、江戸時代に再建した。ワビスケツバキは、その頃には植えられていたとされ、樹齢は350年以上樹高8メートルという。例年12月頃から淡いピンクの花をつけはじめ、見頃は2月下旬頃～4月中旬まで。



臨済宗大池寺は小堀遠州の作と言われ、サツキの刈り込みと白砂の対比が美しい枯山水の「**蓬萊庭園**」で有名な寺院です



上記ワビスケツバキ=  
(別名)有楽・太郎冠者

←「**蓬萊庭園**」の春と秋